

# 2020 京都芸術大学 大学院ハンドブック

## 大学の基本使命

芸術を学ぶ者たちが、来るべき文明の姿を思い描き、人類危機の時代を克服するという強い意志をどう身につけるか。  
そしてまた、他者の痛み想像力を働かせ、多くの人々の幸せのために芸術の力を用いる姿勢をどう培うか。  
すなわち、良心をもって社会を変革する芸術家魂をどう育てるか。  
芸術立国とは、芸術立国を担う人間の成長にほかならない。芸術文化を原動力とする文明への展望と、人類と自然への深い愛情に満ちた哲学を持った人間を輩出する。それこそが、本学の最も重要な使命である。

## 建学の理念

芸術と哲学によって、新しい人間観、世界観の創造を目指す。

## 教育目標

人類が直面する困難な課題を克服するために、「人間力」と「創造力」を鍛え、社会の変革に役立てることのできる人材を育成する。

# INDEX

2020年度学年暦……………3

## 芸術研究科

### 基本情報

1. 芸術研究科構成・教育方針……………8
2. 授業の形態・単位制について……………9
3. 出席と欠席の取扱い・気象警報等による授業の休講……10
4. 期末試験(筆記試験・レポート課題)……………11
5. 追試験……………12
6. 成績評価・成績通知・成績確認願……………13
7. 大学からの連絡方法……………14
8. 各種学内アカウントの利用について……………15
9. 学生生活支援窓口、休学・退学の手続き……………16

## 芸術研究科

### 履修登録

10. 履修計画・履修登録……………19
11. 科目一覧・WEBシラバスの見方……………20
12. 履修登録の流れ……………22

## 芸術研究科

### 履修・学位関連

13. 芸術専攻(修士・博士課程)履修・学位申請……………26
14. 大学院における資格取得について……………37

## 芸術研究科

### 研究・制作支援

15. 施設・機器の使用……………39
16. 大学院における研究・制作等に関する助成について……………45

## キャンパスマップ 校舎・教室配置図

### 参考資料

- 瓜生山キャンパス・高原キャンパスマップ……………47
- 校舎・教室配置図……………48
- 著作権とうまく付き合うために……………54

この冊子は、みなさんがこの大学で学修するにあたって知っておかなければならない事柄を編集したガイドブックです。単位制、履修登録、試験制度など大学での学修の基礎となる事項と、カリキュラムの構成などを一冊にまとめてあります。よく読んで、学修に役立ててください。なお、記載事項に変更が生じた場合は、掲示又はその他の方法で通知します。

# 2020 年度学年暦

※学年暦が変更になった場合は掲示及び在学生専用サイトにて連絡します。  
 ※定期試験、ガイダンス等の時期は、各自予定を空けておいてください(日程変更になる場合もあります)。

2020 年

4 月				5 月				6 月			
	芸術学部	大学院	授業回数		芸術学部	大学院	授業回数		芸術学部	大学院	授業回数
1	水			1	金			1	月		3
2	木			2	土			2	火		3
3	金			3	日	憲法記念日		3	水		3
4	土			4	月	みどりの日		4	木		3
5	日			5	火	こどもの日		5	金		3
6	月			6	水	振替休日		6	土		3
7	火			7	木			7	日	オープンキャンパス	
8	水			8	金		博士予備審査願配布 (~ 6/26)	8	月		4
9	木			9	土			9	火		4
10	金			10	日			10	水		4
11	土			11	月	新年度ガイダンス	修士題目届配布	11	木		4
12	日			12	火			12	金		4
13	月			13	水		新年度ガイダンス	13	土		4
14	火			14	木			14	日		
15	水			15	金			15	月		5
16	木			16	土			16	火		5
17	金			17	日			17	水		5
18	土			18	月		前期授業開始	1	18	木	5
19	日			19	火			1	19	金	5
20	月			20	水			1	20	土	5
21	火			21	木			1	21	日	
22	水			22	金			1	22	月	6
23	木			23	土			1	23	火	6
24	金			24	日				24	水	6
25	土			25	月			2	25	木	6
26	日			26	火			2	26	金	博士予備審査願配布終了
27	月			27	水			2	27	土	6
28	火			28	木			2	28	日	
29	水	昭和の日		29	金			2	29	月	博士予備審査願受付 (~ 7/3)
30	木			30	土			2	30	火	7
				31	日						

7月				8月				9月			
	芸術学部	大学院	授業回数		芸術学部	大学院	授業回数		芸術学部	大学院	授業回数
1	水		7	1	土		11	1	火	集中授業期間	
2	木		7	2	日			2	水		
3	金	博士予備審査願 受付終了	7	3	月			12	3	木	
4	土		7	4	火			12	4	金	
5	日	オープンキャンパス		5	水			12	5	土	
6	月		8	6	木			12	6	日	
7	火		8	7	金			12	7	月	集中授業期間 博士学位 予備審査
8	水		8	8	土			12	8	火	
9	木		8	9	日	夏季休暇(学生)		9	水		
10	金		8	10	月	山の日		10	木		博士学位予備 審査(予備日)
11	土		8	11	火	夏季休館(立入禁止)		11	金		
12	日			12	水			12	土		
13	月		9	13	木			13	日		
14	火		9	14	金			14	月		
15	水		9	15	土			15	火	集中授業期間	
16	木		9	16	日			16	水		
17	金		9	17	月			13	17	木	
18	土		9	18	火			13	18	金	
19	日			19	水			13	19	土	大瓜生山祭 オープンキャンパス
20	月		10	20	木			13	20	日	
21	火		10	21	金			13	21	月	敬老の日 大瓜生山祭・オープンキャンパス (予備日)
22	水		10	22	土			13	22	火	秋分の日 大瓜生山祭片付け
23	木	海の日	10	23	日			23	水		
24	金	スポーツ の日	10	24	月			14	24	木	後期授業開始
25	土		10	25	火			14	25	金	1
26	日			26	水			14	26	土	1
27	月		11	27	木			14	27	日	
28	火		11	28	金			14	28	月	1
29	水		11	29	土			14	29	火	1
30	木		11	30	日	オープンキャンパス		30	水		1
31	金		11	31	月	集中授業期間					

10月				11月				12月			
	芸術学部	大学院	授業回数		芸術学部	大学院	授業回数		芸術学部	大学院	授業回数
1	木	修士題目届提出締切	2	1	日			1	火		10
2	金		2	2	月	博士學位審査願受付 (~ 11/6)	6	2	水		10
3	土		2	3	火	文化の日 授業日	6	3	木		10
4	日			4	水		6	4	金		10
5	月		2	5	木		7	5	土		10
6	火		2	6	金		7	6	日		
7	水		2	7	土		7	7	月		11
8	木		3	8	日			8	火		11
9	金		3	9	月		7	9	水		11
10	土		3	10	火		7	10	木		11
11	日	秋季卒業式	秋季学位授与式	11	水		7	11	金		11
12	月		3	12	木		8	12	土		11
13	火		3	13	金		8	13	日		
14	水		3	14	土	ミロのヴェーナスデッサン大会	8	14	月		12
15	木		4	15	日			15	火		12
16	金		4	16	月		8	16	水		12
17	土		4	17	火		8	17	木		12
18	日			18	水		8	18	金		12
19	月		4	19	木		9	19	土		12
20	火		4	20	金		9	20	日		
21	水		4	21	土		9	21	月		13
22	木		5	22	日			22	火		13
23	金		5	23	月	勤労感謝の日 授業日	9	23	水		13
24	土		修士課程前期入試	5	24	火		9	24	木	13
25	日		修士課程前期入試	25	水		9	25	金		13
26	月			5	26	木	編入学・指定校・帰国子女選抜 公募制推薦型選抜準備 (終日休講 13時~立入禁止)	26	土		13
27	火	開学記念日		5	27	金	公募制推薦型選抜 (休講日、終日立入禁止)	27	日		
28	水			5	28	土	休講日	28	月	冬季休暇 (~ 1/6)	
29	木			6	29	日		29	火		
30	金			6	30	月		10	30	水	
31	土			6				31	木		

2021年

1月				2月				3月						
		芸術学部	大学院	授業回数			芸術学部	大学院	授業回数			芸術学部	大学院	授業回数
1	金	元日			1	月	卒業展（設営） 追試験日	修了展（設営） 追試験日 博士単位認定試験		1	月			
2	土				2	火	追試験日	追試験日 博士単位認定試験		2	火			
3	日				3	水				3	水			
4	月				4	木				4	木			
5	火				5	金				5	金			
6	水				6	土	卒業展・修了展			6	土			
7	木	授業再開		14	7	日				7	日			
8	金			14	8	月				8	月			
9	土		博士口頭試問	14	9	火				9	火			
10	日				10	水				10	水			
11	月	成人の日			11	木	建国記念の日			11	木			
12	火		修士学位審査願提出締切	14	12	金				12	金			
13	水			14	13	土	オープン キャンパス			13	土	卒業式	学位授与式	
14	木			15	14	日				14	日			
15	金			15	15	月	卒業展・修了展（片付け）			15	月			
16	土		博士口頭試問（予備日）	15	16	火		博士課程入試		16	火			
17	日		博士口頭試問（予備日）		17	水				17	水			
18	月			14	18	木		修士課程後期入試		18	木			
19	火			15	19	金				19	金			
20	水			15	20	土	東京展（搬入・設営）			20	土	春分の日		
21	木	補講			21	日				21	日			
22	金				22	月				22	月	新年度ガイダンス		
23	土		後期授業終了		23	火	天皇誕生日	東京展		23	火			
24	日				24	水				24	水			
25	月		修士口頭試問	15	25	木				25	木			
26	火	後期末試験	後期末試験 修士口頭試問		26	金				26	金			
27	水	○後期末試験（AM） ○自己推薦面接型選抜、一般型選抜準備（13時～立入禁止）			27	土	東京展（搬出）			27	土			
28	木	一般型選抜（終日立入禁止）			28	日				28	日			
29	金	後期末試験	後期末試験 修士口頭試問		29	月				29	月			
30	土		修士口頭試問		30	火				30	火			
31	日				31	水				31	水	学年終わり		

# 芸術研究科

基本情報

# 1

## 芸術研究科 構成・教育方針

### 芸術研究科構成



#### 修士課程

##### ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

修士課程では、芸術・文化に関する広範で清新な知識を基礎にして、社会や自然における芸術の意義と役割を認識するとともに、個別の専門領域において発見した独自のテーマを柔軟かつ論理的な思考によって展開し、高度な成果物として表現できる人材を育成します。さらに、学位の種別に応じて、次の能力の獲得を目指します。

- ・既存の価値観にとらわれることなく、新たな視点による学際的研究に取り組み、その成果を学術論文としての確にまとめる能力(「修士(学術)」授与の場合)。
- ・自己と他者、芸術と社会、個と全体の関わりについて真摯に向き合い、高度な意志疎通能力と呈示能力を備え、作家、研究者などの専門的職業人や芸術的手法を駆使する社会人として、芸術分野の将来的発展に寄与する能力(「修士(学術)」授与の場合)。

##### カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

- ・「芸術による平和創造」という本学全体の理念の共有化を図るとともに、日本の芸術・文化の普遍性と個性を広い視野から概観することによって、学生の研究または研究・制作活動を刺激し、テーマの発見・探究・創出の糸口を提示します。
- ・研究または研究・制作を進める上での基礎となる方法に関して、芸術研究の支柱である「比較論、歴史、造形史、精神史、身体論的研究」の各視座からその基底となる考え方を教示します。
- ・各学生の専門的視座に特化した講義科目を開講し、新たな視点による芸術文化研究あるいは芸術表現に取り組む基礎を養います。
- ・各学生に主たる指導教員を配し、個別指導を行ないます。1年次は、主として問題意識の啓発とその研究展開を図る方法論を指導します。2年次は、1年次からの継続性を重視しつつ、学位審査に向けた(研究または研究・制作)課題の設定と、その提示方法の研鑽に主眼を置くものとします。
- ・各学年において中間発表会を開催し、主たる指導教員以外からの指導を仰ぎ、修士成果物の質的向上を図ります。

##### アドミッション・ポリシー(求める学生像および入学者選抜の基本方針)

- ・豊かな感性と柔軟な思考を有し、学士課程の基礎をふまえ、各自の専門領域を構築して造形思想を深めるための能力を有していること。
- ・芸術に関する基礎的な教養を有し、的確で論理的な思考とコミュニケーションの能力を有していること。
- ・日本語と英語の読解力・表現力を有していること。

#### 博士課程

##### ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

博士課程では、人類の叡智を発展的に継承し、芸術・文化に関する優れた理論研究または研究・制作に邁進し、その成果を国際社会に広く発信することによって、芸術による平和創造の礎を築く人材を育成します。

- ・理論研究においては、芸術による平和創造に寄与する価値観の構築をめざし、既存の学問分野にとらわれることなく、幅広い視野と斬新な視点によって芸術文化の神髄に迫る能力の獲得を目指します。
- ・芸術表現・制作においては、柔軟な思考と斬新な技術によって創造の地平を切り開き、真に現代的な芸術表現に挑み続ける能力の獲得を目指します。

##### カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

- ・徹底した個別指導を基本とし、研究者／制作者としての自立を促します。
- ・研究発表・展覧会での作品発表を積極的に促し、多くの視点からの批判を仰ぐことにより、研究／制作の質的向上を図ります。

##### アドミッション・ポリシー(求める学生像および入学者選抜の基本方針)

- ・専門領域における広範かつ深淵な知見を有し、かつ新たな価値観の構築にむけて真摯に取り組む姿勢を有していること。
- ・基本的には3年間で日本語による博士論文を完成させうる研究計画と遂行力を有していること。
- ・外国語(基本的に英語)による専門的語学力を有していること。

# 2

## 授業の形態、単位制について

### 学期

本学では1年を前期と後期に分ける2学期制を採用しています。2020年度の学期は以下の通りです。

前期: 2020年 4月1日～2020年 9月30日

後期: 2020年 10月1日～2021年 3月31日

※授業開講期間は学年暦を参照してください。

### 授業時間

授業時間は1講時を80分間としており、時間配分は以下の通りです。

1 講時	2 講時	3 講時	4 講時	5 講時	6 講時
9:00～10:20	10:40～12:00	13:10～14:30	14:50～16:10	16:30～17:50	18:00～19:20

### 開講期間・形態による授業の分類

授業科目は、以下のとおりに区分されます。

#### 開講期間による区分

前期科目: 前期の半年間で履修する科目

前期集中科目: 前期の数日間で集中的に履修する科目

後期科目: 後期の半年間で履修する科目

後期集中科目: 後期の数日間で集中的に履修する科目

通年科目: 前・後期を通して履修する科目

通年集中科目: 前・後期を通し数日間で集中的に履修する科目

夏期集中科目: 前期授業終了から後期授業開始までの期間に履修する科目

#### 形態による区分

講義科目	演習科目	実技科目
講義を主体とした授業で、授業に対応した予習・復習が必要となる。授業1講時に対し2講時分の自習をしていることを前提として授業が行われる。 週1講時の授業で半期科目の場合は2単位、通年科目の場合は4単位。	講義と実技・実習を織り交ぜた授業で、授業に対応した予習・復習が必要となる。授業2講時に対し1講時分の自習をしていることを前提として授業が行われる。 週2講時の授業で半期科目の場合は2単位。	実技・実習を主体とした授業で学習のすべてを授業時間内で行うのが基本。課題の提出を要する専門科目等で課題制作が間に合わない場合は授業時間外に自習で補うこともある。 週2講時の授業で半期科目の場合は2単位。

### 「単位制」とは

学生各自の専門や関心をもとに「修了要件」(修士課程:P.26、博士課程:P.31 参照)に応じて履修計画を立て、「履修登録」(P.19 参照)と呼ばれる手続きを行うことによって時間割が決まります。「単位制」とは、その授業を受講し担当教員が合格と認定すれば所定の単位数を得ることのできる制度です。修了要件も単位制に基づいて決められています。

### 単位認定

単位認定は日常評価(授業への参加態度等)、課題提出、期末試験等の評価方法により科目担当教員が行います。

授業は毎回出席することを前提とします。

### 授業受講にあたっての注意事項

芸術表現の歴史や方法を学ぶ本学では、授業の教材として、暴力的な表現や性的な表現を含む動画や画像を使用することがあります。できる限り授業の冒頭で担当教員より予告しますが、許容範囲については個人差がありますので、不安な方はあらかじめ担当教員にお申し出ください。

# 3

## 出席と欠席の取り扱い 気象警報等による授業の休講

### 「公欠届」について

以下の理由で欠席する(した)場合は「公欠届」を提出することができます。

手続書類は教学事務室教務窓口でお渡ししますので、必要書類を準備の上、教務窓口にて手続きをしてください。

届出受付の最終期日は前期・後期の各最終授業日(補講日を含む)までです。

また、必要書類は原則、原本とします。ただし、原本が提出できない場合は教務窓口にてご相談ください。

なお、「公欠届」により欠席の届け出を行った授業回数については要出席回数に含めません。ただし、集中授業の場合など

公欠届の対象となる欠席が授業時間数の1/3を超える場合は「公欠届」の提出が認められない場合があります。

事由	必要書類	手続時期	備考
忌服 (2親等までの親族)	会葬礼状など	忌服期間終了後、 速やかに。※	配偶者および1親等(父母・子)は7日間の範囲内、 2親等(祖父母、兄弟姉妹、孫)は3日間の範囲内。 原則、いずれも連続した日程とする(休日を含む)。
学校保健安全法施行規則に 規定された学校感染症による 登校停止	登校許可証明書 またはインフルエンザ 罹患証明書 (所定の書式を 大学院準備室より 交付)	登校許可がおりの日の 翌日まで。※	学校感染症に罹患した場合は、まずは速やかに 大学院準備室へ連絡してください。詳しくは学生手帳 または在学生専用サイトで確認してください。
裁判員制度による任務	公的通知書	原則、事前	事由が発生することが判明した時点で速やかに 教務窓口にご相談ください。
補講期間中の補講同士の重複	特になし	事前 (補講の重複が判明した 時点で速やかに)	補講が重複することが判明した時点で速やかに 教務窓口へ申し出てください。

※…忌服、学校感染症等で最終授業日に登校できない場合は、忌服期間終了後もしくは登校許可がおりの日の翌日までに教務窓口へお越しください。

授業を欠席した場合は、「公欠届」の対象になるかならないかに関わらず、授業担当教員に申し出て欠席回分の資料の有無を確認する、同じ授業を履修している友人に授業内容を教えてもらうなどして、欠席分の授業回の学修内容を自分で補うようにしてください。  
※欠席により学期末の筆記試験が受験できない場合の手続きは別に定めています。P.12「追試験」を参照してください。

### 気象警報発令、交通機関不通時の全学休講について

以下の気象警報が発令された場合、及び以下の交通機関が不通の場合は休講となります。

京都・亀岡地区内の京都市に「暴風警報」、「暴風雪警報」又は「特別警報」のいずれかが発令された場合

7:00時点で発令中、及び7:00以降9:00までに発令	<b>1、2 講時休講</b>
11:00時点で発令中	<b>3 講時以降休講</b>

※授業中に発令された場合、その講時の授業は続行し、次の講時の授業から休講になります。

※「土砂災害警戒情報」については状況に応じて対応します。

大学に至る交通機関のうち、下記の路線で事故・ストライキが発生した場合

■京都市バス・地下鉄どちらか、あるいは両方が不通となった場合(市バス一部区間の事故は除く)

■JR・阪急・京阪・叡電・近鉄 左記のうち3路線以上が不通となった場合

7:00までに運転再開	<b>2 講時から実施</b>
9:00までに運転再開	<b>3 講時から実施</b>
12:00までに運転再開	<b>4 講時から実施</b>

※12:00までに運転が再開されない場合は終日休講となります。

# 4

## 期末試験（筆記試験・レポート課題）

### 期末試験

期末試験の種類には主に「筆記試験」「レポート課題」の2種類があります。

#### ①筆記試験

原則として試験期間(学年暦参照)に行われます。

前期科目は前期授業終了時、後期科目は後期授業終了時に実施されます。通年科目については、試験が前期末・後期末の両方に行われることもあります。

試験の実施要項は、試験のおよそ2週間前に掲示及び在学生専用サイトでお知らせします。

また、前期前半、前期後半、後期前半、後期後半の科目は、それぞれの期末に行われることもあります。

#### ②レポート課題

与えられたテーマに沿ってレポートを作成・提出します。テーマ、分量、提出場所、提出期日等の規定を掲示及び在学生専用サイトにてお知らせしますので、それらを守って提出してください。

万一、病気(学校感染症)、災害、交通事故などにより、提出が期日を越えると予想される場合は、必ず提出締切時間までに教学事務室教務窓口へ相談し、指示を受けてください。手続きには、理由を証明する公的書類(診断書、事故証明書等)が必要です。

### 筆記試験・レポート課題の注意事項

#### 筆記試験・レポート課題共通

- ・出席状況が芳しくない場合は、履修登録した科目であっても受験が認められない場合があります。
- ・試験実施日時、場所、レポート内容と提出期限など、必要な事項はすべて掲示及び在学生専用サイトでお知らせします。掲示を見落として受験できなかつたり、内容や場所を間違えることのないよう注意してください。
- ・不正行為や疑わしい行為を行わないでください。不正行為があった場合は、「学生懲戒規程」「試験等における不正行為に関する規程」に則り、原則として当該学期の全履修科目の成績評価をF評価とします。「学生懲戒規程」「試験等における不正行為に関する規程」の全文は、在学生専用サイトに掲載されています。

#### 筆記試験

- ・筆記試験期間中の時間帯は通常授業と同じです。
- ・筆記試験の開始時刻までに必ず教室に入室すること。遅刻すると受験できません。
- ・試験場では学生証が必要です。忘れた場合は教務窓口で「受験許可証」の発行を受けてください。「受験許可証」は発行当日に限り有効で、同一試験期間(授業最終日に実施される場合も含む)に1回限り発行可能です。
- ・答案には必要事項(科目名、学籍番号、氏名他)を記入すること。記載のない場合は未受験の扱いになります。
- ・試験中は監督者の指示に従ってください。万一従わない場合は退場を求められ、その答案は無効となります。

#### レポート課題

- ・レポートのテーマ、分量、提出日程、提出締切、提出場所は厳守のこと。提出締切を過ぎたものは一切受け付けません。
- ・郵送による提出は受け付けていません。また、トラブルのもとになりますので必ず本人が提出してください。
- ・装丁のきまり(本学指定のレポート提出表をつける、必要事項はペン書きで記載する、ホチキスで2カ所留める等)を必ず守ってください。

# 5

## 追試験

### 追試験とは

病気、交通機関の運休・遅延、忌服などにより学期末の筆記試験が受験できない場合に、一定の手続きを経て実施される試験です。

対象となる主な事由や手続きは以下の通りです。

手続きに関してわからないことがあれば教学事務室教務窓口へご相談ください。

※レポート課題の場合、追試験はありません。

対象事由	受験料	必要書類	手続時期	手続内容
病気	1,000円 / 1科目	診断書(原本) ※「自宅療養を要す」など、 試験当日登校が不可能であつ た旨の記載が必要 ※学校感染症の場合は登校 許可証明書またはインフル エンザ罹患証明書(所定の 書式を大学院準備室より交 付)	筆記試験当日から3日以内(休日 を含む。3日目が休日の場合は その翌日まで)。 ※学校感染症で3日以内に手続き が出来ない場合は登校許可が おりた翌日まで。	診断書等を持参の上、 教務窓口までお越しくだ さい。
忌服 ※2親等までの親族 (父母、祖父母、兄弟姉 妹、子、孫、配偶者)	無料	会葬礼状など ※原則、原本	筆記試験当日から3日以内(休日 を含む。3日目が休日の場合 はその翌日まで)。	会葬礼状を持参の上、 教務窓口までお越しくだ さい。 ※会葬礼状等は、原則、原 本とします。原本が提出で きない場合や会葬礼状がない 場合などは教務窓口へご相 談ください。
交通機関の遅延・運休		延着証明書など	遅延の場合は原則、発生当日の 窓口時間内。 ※運休や発生時刻により当日 の届出が出来ない場合のみ翌 日まで。ただし、必ず当日の窓 口時間内に教務窓口まで連絡し てください。	延着証明書(原則、駅等 で配布されているものと する)持参の上、教務窓 口までお越しください。 ※対象となるのは現住所 から大学までの通常の経 路のみです。帰省先や旅 行先からの経路は対象と なりません。
資格科目実習 (教育実習、博物館実習、 介護等体験等)		芸術教育資格支援センター が発行する実習による欠席 届	事前。	必要書類を持参の上、 教務窓口までお越しくだ さい。
採用試験、およびそれに 準ずる会社説明会・入社 内定式		採用試験証明書 (キャリアデザインセンターが 発行するもの)	事前に教務窓口にご相談のうえ、 筆記試験当日から3日以内(休 日を含む。3日目が休日の場 合はその翌日まで)。	※公的通知書、受験票に ついては原本を提示してい ただき、教務窓口で写し を取らせていただきます。 ※受験票で入学試験日時 が確認できない場合は、 入学試験日時の確認でき るもの(募集要項等)も持 参してください。
入学試験		受験票(原本提示)	入学試験日の前日(前日が休日 の場合はその前日)まで。	
裁判員制度に関わる事由		公的通知書など	事前。	

※災害など、上記以外で大学が特にやむを得ないと認めた場合は個別に対応しますので、教務窓口へご相談ください。

# 6

## 成績評価・成績通知・成績確認願

### 成績評価

成績は100点満点で60点以上が合格となり、単位が認定されます。59点以下の場合は不合格となり、単位は認定されません。一度合格した科目を再度履修することはできませんが、不合格となった場合は再度履修することができます。前期(夏期集中を含む)科目は10月上旬に成績が確定します。通年、後期の科目は3月上旬に成績が確定します。

### 成績評価の種類

S	90～100	特に優れている
A	80～89	優れている
B	70～79	標準である
C	60～69	合格と認められる最低限の成績である
D	0～59	不合格
F	—	評価対象外 ※2018年度までは「評価不能」

ただし、単位認定の手続きを経て認定された科目の成績表記は「N(認定)」表記となります。

### 成績通知

成績を示す書類には次の2種類があります。

成績通知書:履修登録したすべての科目及びその評価について記載したもの。

成績証明書:合格した科目のみ100点満点の素点と、「S」、「A」、「B」、「C」の4段階で示したもの。

### 成績確認願

成績について万一不明な点がある場合は、「成績確認願」を提出することができます。

シラバスに記載のある評価方法を満たしているが、見合った評価になっていないと思われる場合などが対象です。

受付期間は成績開示の際に掲示及び在学生専用サイトでお知らせします。期間外の受付や担当教員へ直接確認を行うことはできません。

なお、前期・後期終了時に、履修した科目の修得単位数・成績等によって、履修状況が芳しくないと判断した場合には、指導教員から適宜指導があるほか、改善の見込みがない学生に対しては「退学勧告」を行います。

# 7

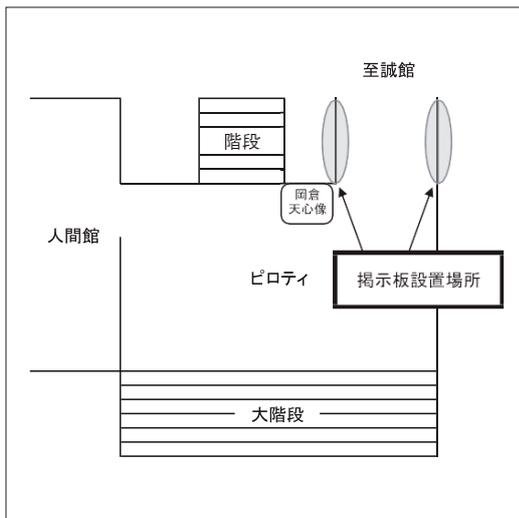
## 大学からの連絡方法

大学からの連絡事項は掲示、または大学ホームページ在学学生専用サイト、大学が発行したメールで伝達します。掲示板や在学学生専用サイトの見落としによって生じた不都合(試験時間の見落とし、変更事項の確認漏れ等)はすべて見落としとした学生自身の責任となります。

また、皆さんへの公平かつ正確な情報伝達のため、「大学からの情報伝達は掲示板及び在学学生専用サイトで行う」ことを基本としており、電話での問い合わせは受け付けていません。

毎日掲示板と在学学生専用サイトを確認してください。

### ①教務関係掲示板



### ②在学学生専用サイト

大学HPトップページ下部「在学学生専用サイト」をクリックしてください。



### ③大学院準備室前掲示板…人間館NA棟3階NA317大学院準備室前

①、③の2ヶ所に、主に履修、研究助成、学位審査に関すること等の連絡事項を掲示します。

人間館ピロティには試験情報ほか様々な情報(芸術文化情報センター、キャリアデザインセンターなど)が掲示される掲示板があります。

### ④大学院掲示板…人間館NA棟1階エレベーター前

大学院及び院生から学内に発信したい情報(公開授業、研究会、展覧会案内等)を掲示

### ⑤大学が発行するメールの利用について

大学が発行したメールは、インターネットが利用できる環境であれば、メールの送受信ができるサービスです。

以下のものをまとめ、「各種サービスアカウント通知書」として情報システム室から配布します。

- ・学内LAN利用アカウント:学内LANに接続されているパソコンを利用する際に必要なユーザー名とパスワード
  - ・マイライブラリアカウント:芸術文化情報センターのサービスを受けるためのログイン名とパスワード
- ※メールの利用方法は「8. 各種学内アカウントの利用について」を参照してください。

### ⑥大学からメールで配信される情報

- ・緊急連絡(緊急災害時の安否確認と支援に必要な情報)
- ・全学的な休校の連絡
- ・成績公開、Web履修登録に関する情報
- ・在学学生専用サイトの新着情報(週1回の定期配信) ※希望者のみ
- ・準備室からのお知らせ他(事務室からの個別連絡、芸術文化情報センターからの図書延滞の連絡、キャリアデザインセンターからの就職情報)

スマートフォンや携帯電話でリアルタイムにメールを受信できますので、大学から届いたメールはすぐに確認するようにしましょう。

# 8

## 各種学内アカウントの利用について

大学が発行したメールや学内LAN、芸術文化情報センターのサービス「マイライブラリ」を利用するためのユーザー名（メールアドレス）およびパスワードは、入学時に「各種サービスアカウント通知書」としてまとめて情報システム室から配付されます。通知書と各ガイドの内容に従い各自で設定を行ってください。

### 各種サービスアカウントの利用における注意点

- ・各種サービスアカウントは、本学に在籍する通学部生を対象に発行します。申請の必要はありません。
- ・各種サービスアカウントは、学生証やキャッシュカード・暗証番号等と同様に重要なものです。  
「各種サービスアカウント通知書」を受け取った後は、責任を持って大切に管理してください。
- ・パスワードを紛失または忘れてしまった場合、情報システム室の窓口で再発行を受けてください。  
再発行には学生証の提示が必要です（電子メール、電話、FAXでの再発行申請、代理申請は受け付けておりません）。

#### パスワード再発行窓口

- ・受付時間： 9:00～17:30（土日祝・学内立入禁止期間・年末年始除く）
- ・受付場所： 人間館地下1階 情報システム室
- ・発行までの所要時間： 5分程度

### 学内LANの利用方法

学内LANサービスは、ノートパソコンなどの端末から無線LAN経由で学内ネットワークに接続し、インターネットを利用するためのサービスです。学生手帳に記載されている「学内LANの利用」内「学内LAN個人パソコン接続利用ガイド」を確認の上、各自で設定を行ってください。

### 大学が発行するメールの利用方法

メールを利用するためには、初期設定が必要です。「各種サービスアカウント通知書」と下記ガイドの内容に従い、各自で設定を行ってください（ガイドは在学生専用サイトから参照できます）。

#### メール利用ガイド (PDF)

<https://www.kyoto-art.ac.jp/student/teaching/mail/pdf/mail-guide.pdf>

#### メール利用サイト

<http://mail.google.com/a/st.kyoto-art.ac.jp> (PC・モバイル版共通)

※スマートフォンで大学が発行したメールを利用する設定が完了している場合はGmailアプリを使って簡単にメールが送受信できます。



### 「マイライブラリ」の利用方法

「マイライブラリ」は「芸術文化情報センター」のさまざまなサービスを利用することができます。  
在学生専用サイトから「芸術文化情報センター」のページを開き、ログイン名とパスワードを入力して利用してください。

# 9

## 学生生活支援窓口／休学・退学の手続き

### ・各種窓口

担当部署	場所	受付時間	受付内容	
教務事務室	学生生活窓口	人間館 1F  月～金 9:00～18:00 (長期休暇中の平日、土・祝日授業日は9:00～17:00) 日・祝・年末年始・8/16・学内立入禁止期間は休止	施設使用・車両入構の申し込み 学費納入方法の変更、学費納付書発行などの手続き 奨学金に関すること 各種活動支援(クラブ・サークル) 学生生活に関する相談(生活上のトラブル、心身に障がいのある学生の支援) 留学生支援(在留資格、奨学金、学生生活ほか全般) アルバイト求人に関すること 落とし物・忘れ物に関すること その他学生生活全般に関すること	
	教務窓口		学生証再発行 各種証明書発行 追試験の申込み 成績確認の願出 履修登録に関する質問・手続き 休学・退学の相談 その他学習全般に関すること	
	国際交流センター		月～金 9:00～18:00 (長期休暇中の平日は17:00まで) 土・日・祝・年末年始・8/16・学内立入禁止期間は休止	交換留学、海外研修、語学学習支援など
	キャリアデザインセンター		就職活動、インターンシップに関することなど	
芸術教養センター	人間館 4F	月～金 9:00～17:30 土・日・祝、学内立入禁止期間は休止	創造学習科目／芸術教養科目の授業に関すること 修学相談、ラーニング・カフェに関すること	
芸術教育資格支援センター	人間館 4F	月～土 9:00～17:30(長期休暇中は土曜休止) 日・祝、学内立入禁止期間は休止	教職課程(中・高教員免許状の取得)および学芸員課程(学芸員資格の取得)に関する修学・就職相談	
大学院準備室	人間館 3F	月～金 9:00～17:30 土・日・祝、学内立入禁止期間は休止	授業に関すること 施設使用に関すること 修学相談、学生生活に関すること	
保健センター	人間館 B1F	9:00～18:00 (長期休暇中は9:00～17:00) 年末年始・8/16・学内立入禁止期間は休止	健康診断、ケガの応急手当・対応	
学生相談室	人間館 B1F	月～金 10:00～18:00 (土日祝休止)年末年始・8/16・学内立入禁止期間は休止	心と身体の健康相談、心身の障がいに関する相談	
情報システム室	人間館 B1F	9:00～17:30 土日祝・年末年始・8/16・学内立入禁止期間は休止	各種学内アカウントの発行、大学が発行したメールに関することなど	
芸術文化情報センター(図書館)	人間館 B1F	月～金 9:00～20:00 土 10:00～19:00 日・祝・長期休暇 10:00～18:00 ※受付時間は閉館の20分前まで	図書資料の閲覧・貸出、雑誌・新聞の閲覧 館内メディア資料の視聴など	

### ・休学・退学の手続きについて

休学・退学を希望する場合は、教学事務室教務窓口にて「休学願」および「退学願」を配布していますので、受け取って手続きをしてください。書類には保証人の署名が必要です。  
以下の期限までに担当教員と面談のうえ、大学院準備室へ提出してください。

### 休学・退学願 提出締切日

		提出締切日
休学	前期・通期	3月20日
	後期	9月20日
退学	3月31日付	3月20日
	9月30日付	9月20日

※休業日の場合は、翌営業日まで。

### 休学の期間について

前期...4月1日～9月30日	後期...10月1日～3月31日	通期...4月1日～3月31日
-----------------	------------------	-----------------

※休学は通算して2年を超えることはできません。

### 休学手続きについての注意事項

- ・休学の理由が「疾病」の場合は手続きに医師の診断書が必要です。
- ・休学時の在籍料として半期125,000円(年間250,000円)を納入する必要があります。
- ・兵役の場合は、別途定めがあります。事前に教学事務室教務窓口へ相談してください。

### 休学期間後の復学・休学継続・退学について

休学期間後の復学・休学継続・退学については、休学期間満了の約2ヶ月前に確認書類を送付します。  
送付された書類に従って手続きをしてください。